



社会福祉

法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

第69号 2019年(平成31年)3月31日

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

Tel (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www.toyonaka-shakyo-vc.org/>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループ
あれこれ

友愛電話による傾聴グループ

「聴くの会」編



平成元年4月に豊中市社会福祉協議会の登録ボランティアを中心として結成された「聴くの会」は、約20名のメンバーが毎週火曜日にシフトを組み、市内の一人暮らしの高齢者(登録制)に電話をかけ、安否確認と日頃の暮らしぶりをお聴きするグループです。

現在は100人近い高齢者が登録されており、それぞれに月一回の電話訪問となりますが、私たちは友愛の精神をモットーに「ともに生きる」気持ちを大切にお話しさせて頂いています。

毎回楽しみに待っていて下さる方とはついつい長話になり、友達のような会話になる事もしばしばです。

「いつも気遣ってくれて有難う」の言葉をいただいたりすると「お声が聴けて良かった!」と温かい気持ちになります。そして一人でも多くの方々と心を寄せ合うようにお話しさせていただきたいと私たちは切に願っています。

現在のメンバーは女性ばかりですが、研修会や反省会でも笑いの絶えない楽しいグループです。

見学ご希望の方、火曜日にぜひお越しください。大歓迎でお待ちしています!

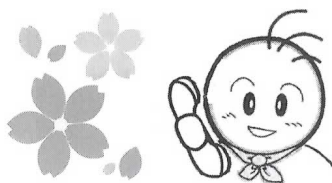


みんなで集合写真!!



活動の様子

(聴くの会 Y.S.)



◎活動に興味のある方はお問合わせください。

☆お問合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぶらっと」

豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000

☆活動日 毎週火曜日 10:00~13:00

13:00~16:00

☆定例会 第4木曜日 10:00~12:00

(ボランティアセンター「ぶらっと」にて実施)





福祉大会と同時開催！

第26回ボランティアフェスティバル

～つなげよう福祉の輪～

午後1時から、箕面自由学園高校の生徒による「豊中市ボランティアバス報告」に始まり、楽友会ゴールデンベルの懐かしい大正琴の合奏、高齢者大学同窓会のみなさんのあざやかな新舞踊や、SAとよなかの合唱、舞台狭しと踊る車いすダンス、素晴らしい音色を会場いっぱいに響かせた三味線演奏、豊中びーのびーの合唱、大人数で息の合った歌体操など盛り沢山のステージ発表など、中には玄人はだしの芸もあり、楽しく和やかな時間を過ごすことができた。

(みちしるべ M・H)

ステージ



オープニング



車いすダンスコスモスの会



日本民謡藤本秀加会



いきいき歌体操 さわやか



ボランティア体験コーナー



手話体験コーナー
(手話サークル)



福祉車両試乗体験
(豊中アッシー)



記事入力体験
(アクセス)



ノルディックウォーク体験
(TERVE 北大阪)



アイマスク体験
(ステッキ)



福祉のお仕事体験コーナー

どう?ボランティアフェスティバルって!?

～ボランティアフェスティバルの感想をインタビューしてみました～

車いすの体験をしました。
押すことはありますが、乗ることは初めてで、ガタガタするのが怖かったです。
50代 女性 市内在住



豊中のボランティアイメージキャラクター
ボランちゃん

はじめて来ました。子ども達が楽しめるブースがあって良いなと思いました。
小2女子、小4男子

合唱のサポートをしています。何度か来ているが、年々工夫を重ねられて充実してきていると思います。
60代 男性 市内在住

豊中はボランティアが盛んと聞いて、参加しました。
60代 女性 市外在住

インタビューにお答えくださったみなさま、貴重なお時間、ありがとうございました。

平成30年度 登録ボランティア新年の集い



平成31年1月28日(月)市立福祉会館で毎年恒例の「登録ボランティア新年の集い」が、開催されました。当日は70人を超える登録ボランティアが参加し、大変賑やかな会になりました。

新年の集いへの、いきいき歌体操グループの参加者は今年も23名で1番多い人数でした。(豊中教室、蛭池教室での活動は月2回、参加人数は50~60名です)

役員、来賓の挨拶の後、お弁当、ビール、お茶を頂きながら、例年通りの団欒が進み、その後各グループの紹介がありました。歌体操グループも本人に参加の喜びを感じてもらう為、1人ひとりの名前を紹介しました。

みなさんが各ボランティア団体の各種多様で活発な活動を知ること、自分ももっとボランティア活動に参加しようと感じてくれたと思います。

私は新年の集いには4回目の参加です。70歳直前に会社を退職し、これまでの会社員生活に感謝して、世の中の為に少しはお返ししたいと思っていました。広報「とよなか」を見ていた家内から「『いきいき歌体操』というのがあるよ。『行ってみたら』』と言われたのがボランティア活動への始まりです。

ボランティア訪問施設で 喜ばれ・感謝され・また来てね!!の声に、自分も喜びを感じ、健康寿命を延ばす事になると強く感じるので、これからもボランティア活動を継続していきたいと思っています。

(いきいき歌体操グループさわやか:Y・O)



いきいき歌体操グループさわやかのみなさん



みんなで食事



ギター演奏 岸田 安彦さん



初参加!ピアノ演奏 田中 美香さん



ハーモニカ演奏 大林 夏子さん



江戸芸かっぽれのみなさん



フルート演奏 細谷 正純さん



第12回 全国校区・小地域福祉活動サミットin豊中

平成31年1月12日(土)豊中市立文化芸術センターにて、開催されました。このイベントは、小学校区・中学校区などの小地域で地域福祉活動を行なう実践者が集う交流会です。当日はスタッフを含め、約2,100名の方々が来場！ボランティア団体連絡会からも、前日約30名、当日50名の方々がボランティアとしてご協力くださいました。大交流会では、ぐるぐるアートミニ体験とボランティアカフェを出店し、時間が厳しい中ほっとしたひとときを過ごしていただきました。カフェを利用した参加者から、「ボランティアの方がされているこのカフェでほっとすることができた」との声をいただきました。

みなさまのおかげで、大盛況のうちに終えることができました。ご協力、ありがとうございました！

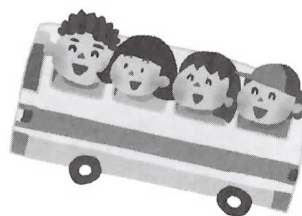


当日のスタッフ打合せの様子



ぐるぐるアートミニ体験コーナー

災害ボランティア研修 ～ボランティアバス報告会～



24年前、阪神・淡路大震災が起きた1月17日(木)に研修会を実施し、今年度のボランティアバス参加者や大阪北部地震、台風21号で活動いただいたボランティア等が集まりました。

ボランティアバスでは夏休み期間に市内4高校25名の高校生とともに岩手県大槌町、陸前高田市を訪問し、そこで防災やボランティア活動などについて学びました。

第1部はボランティアバス報告会として大商学園高等学校の生徒による報告がありました。

第2部として市社協事務局が昨年被災した「大阪北部地震、台風21号の社協支援活動」について報告の後、

大阪府立千里青雲高等学校で取り組まれた集中講座「地域の防災」の学習発表がありました。その後、グループに分かれて、世代を超えた「災害・防災・ボランティア」への思いを新たにしました。



研修会の様子

大阪府市町村ボランティア連絡会

北摂ブロック交流会

今年度の大阪府市町村ボランティア連絡会・北摂ブロック交流会が2018年11月28日に豊中市立文化芸術センター多目的室で開催された。当日、北摂ブロックの7市2町（池田市、箕面市、吹田市、茨木市、高槻市、摂津市、能勢町、豊能町と豊中市）から、ボランティア連絡会、社協の関係者が総勢72名（豊中市；45名、他市町；27名）が参加。

まず関西学院大学名誉教授の牧里先生の“地域福祉とボランティア”というテーマで講話があり、テーマ型ボランティア、エリア型ボランティアの位置づけから、特にエリア型コミュニティ（小地域社会）の地域組織との取り組む意味など、ボランティアに関する多岐にわたる内容についての講演でした。

この後、10の小グループに分かれ、昨年の地震や台風の実体験からの対応や課題等について意見交換とその内容をグループごとに報告があり、2時間という短い交流会であったが、充実した時間を過ごすことができ、今後のボランティア活動の進め方に役立ていきたい。

講話



交流会

私にとってのボランティア

～ボランティア活動手記～

昭和34年(1959年)9月6日、東海地方を襲った台風15号(伊勢湾台風)で愛知、岐阜、三重の東海三県に大きな被害をあたえ、特に名古屋を中心に甚大な被害が出ました。

当時、私は名古屋で仕事をしていました。先ず仕事より被害の後片付けで、その当時は【ボランティア】と言った言葉はあまり聞こえて無いように思いました。

昭和36年に大阪に転勤になり、子どもと野球が好きだったので、近くの子どもたちを集めて少年野球チームをつくり、審判員の資格を取って、本格的に始めたのが【ボランティア】をするきっかけになりました。

元気な時に他人(ひと)の役に立つ事を、とも思っ自治会にも入って「地域で出来る事は地域で」と子どもの見守り等も始めました。歌とギターも好きで、近くの施設、老人センター等で皆さんと一緒に楽しく童謡、唱歌、なつメロ、流行歌などを歌う【ボランティア】も始めました。

平成7年1月17日の阪神淡路大震災も経験しました。たしか、その災害以降、【ボランティア】と言った言葉を聞くようになってきたと思っています。

また、運転免許証を持っており、車が好きだったので、平成12年3月にアッシーに参加し、今まで楽しく【ボランティア】活動が続けさせていただいています。



病院のロビーにて、活動中の谷さん

(豊中アッシー 谷 鴻)

施設見学 みちしるべ



フレミラ宝塚へ行ってきました！

2019年1月18日、宝塚市売布の宝塚市立老人福祉センターを見学。

フレミラとは、高齢者と児童が、ふれあい、みらいを築く場所で、老人福祉センターと大型児童センターの複合施設。阪神淡路大震災後の仮設住宅の跡地を篤志家が購入、宝塚市社会福祉協議会に寄付され、この複合施設が設立された。施設内には、美術工芸室、老人クラブ交流室、遊戯室、運動室、音楽室、茶室、娯楽室や会議室、カレッジ教室等がある。

利用は、60歳以上の市民で、利用料は全て無料、利用時間は9:00～21:00、当日も全ての部屋が使用されており、多くの高齢者が体操、囲碁、麻雀や陶芸など、楽しそうに利用されていたのが印象的であった。

公園のような広い敷地内に、ボランティアセンターやレストラン、産直品市場も併設されており、多くの市民が利用されている素晴らしい施設を体験することができた。

豊中市社協ボランティア団体連絡会

豊中筆記通訳グループ「ダンボ」

厚生労働大臣表彰受賞！！

豊中筆記通訳グループ「ダンボ」が、長年の活動を認められ、2018年度の厚生労働大臣表彰を受章されました。

おめでとうございます！





ひとり暮らし高齢者のみなさまに年賀状を送付しました



昨年 11 月から 12 月にかけて、豊中市内のひとり暮らしの高齢者のみなさまへお送りする年賀状作りを行いました。

この事業が始まり、今回で 34 年になります。絵柄を描いた方、文字を書いた方、チェックをした方、みんなで協力しながら、8 日間で延べ 211 人の方にご参加いただき、6,121 人の方に送付することができました。

また今年もたくさんの返礼をいただき、大変励みになりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！



今年の干支は亥でした！

< ボランティア活動

総合補償制度のご案内 >

2019 年度より、ボランティア・市民活動行事保険に新たなプランが新設されます！

◆宿泊を伴わないかつ参加者が事前に確定できない

1 日行事（Ⅲ型）

- ・保険料 1 名につき 30 円。1 行事 20 名から受付
- ・参加者が不特定多数のため、名簿の提出が不要
- ・往復途上の補償なし
- ・傷害保険は熱中症・食中毒も対象

詳しくは、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

編集後記

昨年は豪雨、地震、台風、酷暑に見舞われました。でも人のつながりが災害に負けないドラマを生み、私たちは感動をもらっていますね！小さなボランティアも沢山のひととの出会いがあり、人と人とのふれあい、つながりの大切さを学んでいるように思えるのは私だけでしょうか？

カートに買い物袋をのせ押している高齢者さんを見かけると「お一人暮らしかな？」「どんな人生を歩まれたのかな？」とついつい思ってしまいます。この「たより」がお手元に届く頃は、随分と暖かくなっているでしょうね。新しい出会いの季節、♪春の小川♪に誘われてボランティアに出かけませんか？

（さわやか T. N）

< 支援金・義援金の集計 >

●東日本大震災支援金

東日本大震災被災地への支援活動のひとつとして、被災地支援金を受付しておりました。

金 額：3,200 円

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日現在）

●平成 30 年 7 月豪雨災害義援金

平成 30 年 7 月に発生した豪雨災害において義援金を受付しておりました。

金 額：9,321 円

（平成 30 年 7 月 20 日～平成 31 年 2 月 28 日現在）

ボランティアメール配信中！

QR コードを読み取っていただき、画面の指示に従って、ご登録ください。ボランティアに関する情報を配信しております。

URL <https://service.sugumail.com/toyonaka-city/>

※上記 URL からでもご登録いただけます。

※登録申込は無料ですが、登録・メール受信にかかる通信料はご負担ください。

